

事業概要シート

施策 1802 利便性の高い公共交通の確立 <<>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	高速大村インターチェンジ駐車場整備事業	現状維持	予算額		44,099 千円
			<< 4,929 >> 千円		
事業期間	平成30年度 ~ 平成31年度		財源内訳	国庫支出金	千円
根拠法令要綱等				県支出金	千円
				地方債	千円
				その他	千円
				一般財源	44,099 千円

【事業の目的・概要・対象】

【目的】

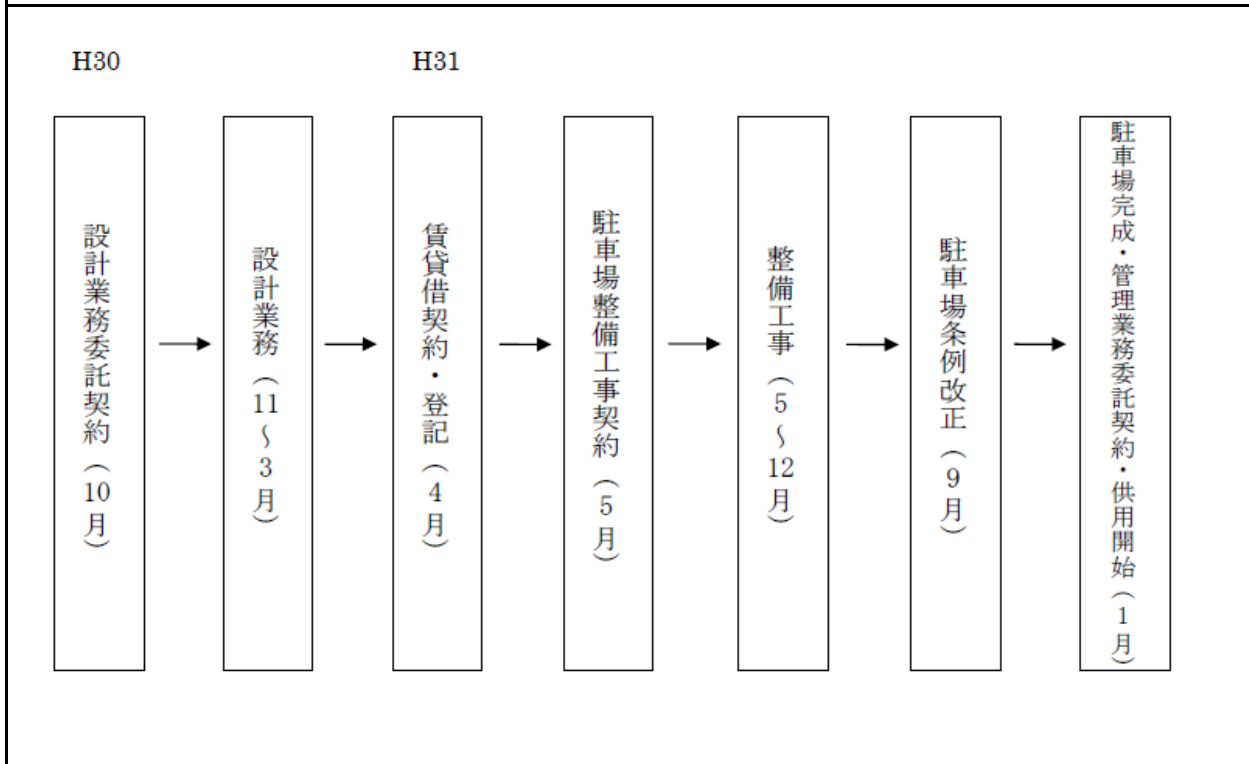
高速大村インター停留所に自家用車等を駐車できる設備を整備し、高速バスを利用する人の利便性の確保を図る。

【事業内容】

高速バス利用者の利便性向上のため有料駐車場を整備する。

【対象】

高速大村インターバス停留所の利用者



【背景】

現在の駐車スペースは高速バス利用者の送迎所としての一時的なスペースであるため、長時間の駐車は行わないよう掲示しているが、実際は長時間駐車が目立ち、無料で駐車場として使用されている。また、市所有の土地ではないため白線を引いたり、輪留め等の整備をすることができないため、無秩序に駐車され、トラブルや苦情も発生している。

担当課	産業振興部商工振興課	課長	浦山 優
担当者	富浦 健	問合せ先	0957-53-4111 (内線248)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	駐車可能台数	台	—	—	—	50	50
②							

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	駐車稼働率	%	—	—	—	60	60
②							

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	0	0	4,929	44,099	5,173	5,173	59,374
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源			4,929	44,099	5,173	5,173	59,374
人件費		0	1,745	1,745	1,745	1,745	6,981
職員(人)			0.24人	0.24人	0.24人	0.24人	0.96人
時間外勤務(h)							0h
嘱託員(人)							0.00人
フルコスト	0	0	6,674	45,844	6,918	6,918	66,355

妥当性 (市の関与)	公共交通である高速バスを利用する人のための駐車場であるため、市が実施主体となることは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	高速バス利用のためという明確な目的の駐車場を整備することは、利用者の利便性を図るには有効であり、施策の推進に貢献するものである。
効率性 (コスト)	駐車場管理を委託し、効率的な運用を図る。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--